

和の光

宝塚市立西谷中学校



掲載なし

私は今までにたくさんの学校に行きにくい生徒（不登校という表現が私自身は好きではないのでこのように表現させてください）を担当してきました。その生徒たちと関わる中、少しでも学校に行きにくい子どもたちのことを理解したいと思い、いろいろな講演会に参加したり、書籍を読んだりしました。そんな時に1冊の本に出会いました。全部で 1040 ページもある分厚い本（国語の辞書のような厚さ）です。1 ページ、1 ページめくりながら読み進むうちに、**教師や大人が思っている以上に、子どもたちは多感で、物事を様々な角度から見つめて、思い悩んでいることに気が付き胸が痛みました。**

私が担任した生徒の中にも、友人関係の悩み・親子関係の悩み・病気や将来への不安など様々な理由で学校に行きにくい生徒がいました。中には、自分でも理由がはっきり分からないけれど、心にモヤモヤとしたものがあり、制服に着替えても玄関から出ることができない生徒もいました。子どもたちを取り巻く社会環境や価値観の変化など、私たち大人が子どもの頃とは全く変わってしまったと思います。

私が担任してきた子どもたちは、それぞれの歩み方には違いがあっても、みな元気に力を取り戻して学校に通えるようになり、それぞれの進路に向けて歩んでいきました。そのような子どもたちとの関りで学んだことを教師として忘れずにいたいと考えています。下記に、私なりの考えを記します。

- ①子どもの**多様な価値観を認め合いながら、教師も育つ姿勢が大切である。**
- ②子どもに対して**教師がどれだけ真剣に向き合えるか。常に子どもは感じ取っています。**
- ③頑張ることも大切だが、**充電期間（心身を休める時期）も必要である。**
- ④たとえ学校に来ることができなくても、**社会（学校・友人・関係機関など）との繋がりは途切れさせないこと。**
- ⑤子どもには内に秘められた可能性があり、その**可能性を引き出せるかは、教師の声掛けや関り方が大きな影響力を持つこと。**
- ⑥**子どもたちにとって、学級・学校が安心できる場所**でなければならない。
- ⑦**自己有用感が持てるような学級・学校づくりが大切である。**

このようなことを大切にしながら、西谷中学校が「誰もが楽しく通える学校」になるよう、教職員一丸となって取り組んでいけるよう全力で臨んでいきたいと考えています。

校長 筒井 啓介

■放課後の一コマ（職員室前の廊下にて）

職員室前の廊下に長机が並んでいます。以前の学校通信でも紹介しましたが、部活が終わってからのバス待ちの時間に宿題をしたり、机の上に置かれたゲームを友人と楽しんだり…。たくさんの生徒がこの長机を利用しています。私は、この場所にいる生徒の姿を見ると、心が癒されます。きっと生徒の皆さんもこの場所で友人と過ごすことで安心感を得たり、心が癒されたりしているのではないのでしょうか？ このような場所は大切にしたいものです。

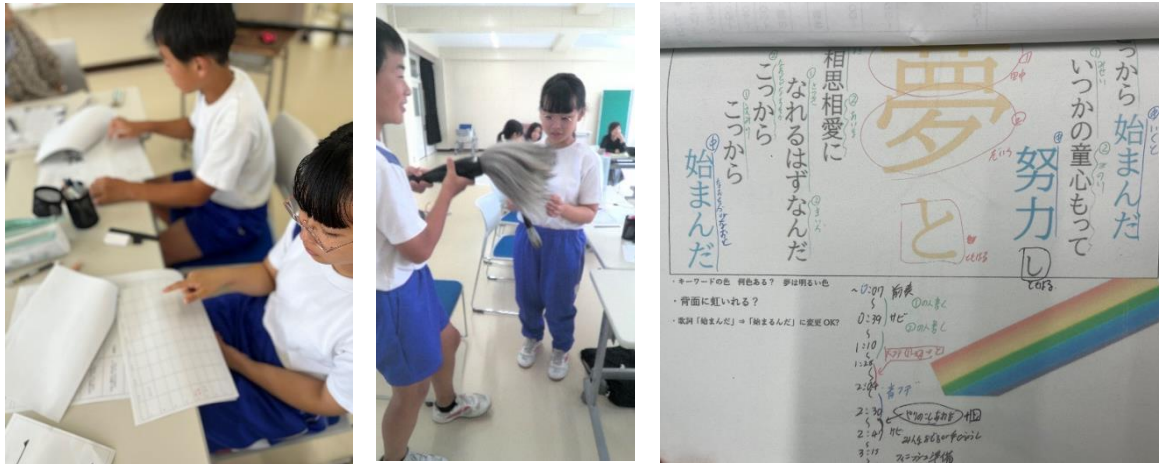
7月上旬の放課後、3年生のAくん・Bくん・Cくんが理科の勉強をしていました。3人で仲良く勉強する姿を見て微笑ましく思いました。張れ受験生、頑張れ3年生！！



職員室前の廊下にて

■書道パフォーマンス実行委員会が活躍しています！！（8月9日）

2学期の文化発表会で行う書道パフォーマンスに向けて、各学年の書道パフォーマンス実行委員さんが、夏休み中に学校に集まって書道パフォーマンス実行委員会を行っています。委員会では、書道パフォーマンスを通して何を伝えるのか・書く文字や背景のデザイン・曲やダンスなどについて検討を進めています。2・3年生は書道パフォーマンスの経験はありますが、1年生は初めての経験です。仲間と共に協力して、見る人々に感動を与えることができる書道パフォーマンスを披露できるといいですね。また、2・3年生は先輩から受け継いだ書道パフォーマンスを参考にして、後輩にもアドバイスができると嬉しく思います。



あまりの筆の大きさにビックリ！！（1年生）



PCを使って調べます（2年生）

Teamsで情報共有します（3年生）

3年生が4月に書いた作文「3年生になった決意」の中に、「書道パフォーマンス」について書かれたものがありました。下記に紹介します。（この思いを忘れずに、最後まで全力で臨んでいこう。）

- ★私は、中学1年生からずっとしている「書道パフォーマンス」を中学3年生でも必ずしたいです。毎年、練習には苦戦していますが、「書道パフォーマンス」で他学年と交流して、とても仲良く話せるようになるので、今年も必ずしたいです。よろしくお願いします。（3年生女子）
- ★私が一番したいことは文化発表会の「書道パフォーマンス」です。奥津先生・高橋先生は別の学校にいるけれど、これを西谷中学校の歴史として残して欲しいと強く語っていました。書道パフォーマンスは自分のストレスや思いを思いっきりぶつけられるし、保護者のみなさんにも楽しんでもらえると思います。（3年生女子）

■仲間と共に学ぶ楽しさ（2年生・家庭科）

家庭科の三宅先生から「校長先生、2年生の授業で浴衣の着付けを行います。ぜひ、見に来てください」と声を掛けていただきました。当日を楽しみにしていたのですが、急な出張が入り、参加できなくなりました。三宅先生・2年生のみなさんごめんなさい。そこで、東根先生が私の代わりに取材をしてくれました。その写真の提供を受けて、ここに紹介することができました。



みんなで浴衣の着付けを体験しました

普段の生活では、浴衣を着る機会がほとんどないと思いますが、浴衣のたたみ方や手入れの仕方を学びました。そして、全員で着付けも体験しました。貴重な体験ができたようで、生徒の表情もいきいきとしていました。また、ゲストとして担任の西本先生も一緒に着付けを体験しました。（7月17日）



浴衣の手入れも体験しました